



彼岸近く **彼岸花** ・ 種を蒔き育てた**古代ハス** ・ 水生植虫^植物**ムジナモ** ・ と ・ **カキツバタ** ・ **立ちコーホネ**



6月の作業 堀さらい・越冬した**ムジナモ**を確認・ **カキツバタ**の移植・彼岸花の移植・丸型の菊 移植・オニバス



館林市高根町 入野谷湿田 『館林美術館前』

昭和の初期まで続いていた日本古来の水田に、生息していた **カキツバタ**と国定記念物の**ムジナモ**の

復活事業の保護団体による保護活動

9月の作業 県立多々良沼に放流する為の**ムジナモ**採取と**カキツバタ**・**コーホネ**・**アサザ**・**オニバス**・**ヒシ**・**クリン草**の除草

草刈とムジナモ観賞会

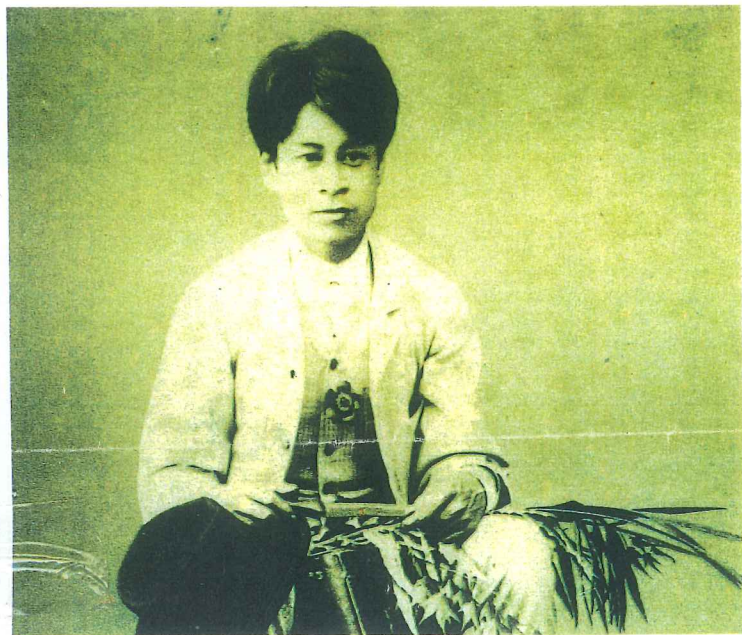
7月31日

みどり市の環境アドバイザーグループ



牧野富太郎博士の略歴と牧野標本館の沿革

- 1862 (文久 2 年) 4 月 24 日 高知県高岡郡佐川村に生れる
 1871 (明治 4 年) 伊藤蘭林塾に学ぶ
 1879 (明治 12 年) 佐川小学校教師となる
 1884 (明治 17 年) 上京
 東京大学理科教室にて研究を許される
 東京帝国大学理科大学助手となる
 1893 (明治 26 年) 1 月 東京帝国大学理学部講師となる
 1912 (明治 45 年) 4 月 26 日 理学博士の学位を受ける
 1937 (昭和 12 年) 1 月 25 日 朝日文化賞を受ける
 1939 (昭和 14 年) 5 月 25 日 東京帝国大学理学部講師辞任、勤続 47 年
 1950 (昭和 25 年) 10 月 日本学士院会員に推される
 1951 (昭和 26 年) 7 月 第一回文化功労賞を受ける
 1953 (昭和 28 年) 10 月 1 日 東京都名誉都民に推される
 1957 (昭和 32 年) 1 月 18 日 96 歳で逝去
 1957 (昭和 32 年) 1 月 18 日 従三位勲二等旭日重光章及び文化勲章を授与される
 1958 (昭和 33 年) 標本約 40 万点を東京都立大学に寄贈
 1958 (昭和 33 年) 6 月 東京都立大学理学部に牧野標本館を付置、理学部長が館長を兼任する
 1982 (昭和 57 年) 4 月 1 日 植物系統分類学講座を新設
 1991 (平成 3 年) 4 月 1 日 都立大学移転に伴い八王子市南大沢に移転する
 1997 (平成 9 年) 4 月 1 日 大学院重点化にともない、理学研究科に所属
 1998 (平成 10 年) 4 月 1 日 旧植物系統分類学講座と旧自然史講座を合せ、自然史科学講座に移行する



若き日の牧野富太郎博士 (志を立てて上京した頃)



所蔵標本

当標本館にはいわゆる牧野標本を中心に次のような標本が所蔵されている。1) 牧野博士による採集品のほか、同博士のもとに同定依頼や寄贈などで全国から送られたシダ植物、種子植物の標本。1881 (明治 14 年) 頃から 1950 (昭和 25 年) 頃までの採集品がある。2) 国内および国外の標本館などと交換によって入手した標本。3) 本学所属の研究者による採集標本。小笠原諸島、南アメリカ、ヒマラヤなどの研究プロジェクトでの採集標本を含む。4) 学外の研究者や採集家から寄贈され、または購入した標本。5) 故桜井久一博士のコケ類標本。同博士の没後に共立女子薬科大学から寄贈されたもの。6) 加崎英男、東道太郎博士らの海藻、車軸藻類標本。特に小笠原海域での海藻類。標本の閲覧をご希望の方はお申し出下さい。

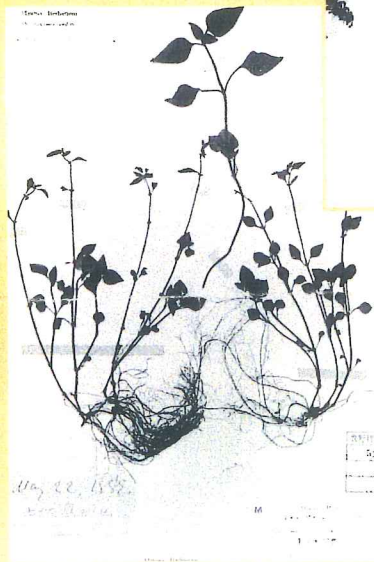
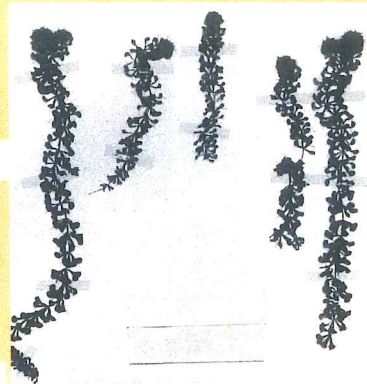
牧野標本館開設時 (1958) の門標。牧野邸にあった博士自筆の看板から複製したもの。現在は標本館ハーバリウム入口に設置されている。



標本整理作業

ムジナモ (モウセンゴケ科) *Aldrovanda vesiculosa* L.

1890 年に牧野博士によって東京府小岩村の水田で発見、北半球に広くかつ稀に産する食虫植物であることが明らかにされた。葉が袋状に集まってハマグリのように開閉し、水中の小虫を捕らえる。



ヤマトグサ (ヤマトグサ科) *Cynocrambe japonica* Makino

1889 (明治 22 年) に牧野博士が四国で発見、命名した。当時の日本では新種の命名 (学名) はすべて欧米の研究者によって行われており、牧野博士によるこのヤマトグサの学名は日本人研究者による最初の命名であった。



ハーバリウム内部。植物標本はコンリョウめられている。

金葉和歌集から

東路の かほやが沼の

カキツバタ

春をこめても

咲きにけるかな

源俊頼が白河法皇の院宣を奉じて選に当たり

1127年頃 大治2年 草稿のまま嘉納された。

時は過ぎ 思い出したか

入野谷に 保護を

待つのか昔の姿で

(カキツバタ)

荒孫

平成八年 鉄塔の下にカキツバタ自生しているのを発見・又その

付近に オニバス発見 それから約十年後こんどは国定記念物

ムジナモ発見 当時の 入野谷湿地帯は柳の雑木とゴミの山見るに

見られず年寄りの仕事 県環境アドバイザー支援団体 立ち上げ

て絶滅危惧保護活動 実施中 支援団体代表・荒井孫四郎 書く